

はじめに

この2～3年間の、コンクリートに関するメモを集めてみると、いつのまにか、高流動コンクリートと高強度コンクリートに関するものが多くなりました。これは、従来のコンクリートとは異なる新しい動きと思われるので、これらをまとめ、「新世代コンクリート」と題し、本書としました。

高流動あるいは高強度コンクリートにおいて、混和剤及び混和材は最も重要な位置を占めるものであり、混和剤なくしては新世代のコンクリートは作れません。

高流動コンクリートの中でも、究極の性能を示す自己充填性（締固め不要）コンクリートは、東京大学・岡村甫先生が、耐久性と信頼性のあるコンクリート（隅々までよくつまる）を作るために考案された画期的なコンクリートです。

本書では、この自己充填性コンクリートを中心に、岡村先生のもとで研究開発に携わって来られた小澤一雅先生から「お話」を頂き、自己充填性コンクリートの本質に足を踏み入れることができました。

高強度コンクリートについては、海外の状況をも含め、圧縮強度と共に今後、要求が増加すると思われる曲げ強度についても記載しています。

その他、新世代とは直接結びつきませんが、日々のコンクリートに関する新しい動きを2～3掲載してみました。